



百歳体操に  
病院職員が訪問します！

- 【令和8年度のパワーアップ計画！】
- ▶ これまで病院職員はリモート（遠隔）で参加していましたが、リハビリテーション科または看護部から職員を会場に派遣します。
  - ▶ 会場に出かけることで町民の皆さんから直接お話しをうかがい、相談をお受けすることができます。
  - ▶ これまで通り町内およそ50カ所の内、年間約半分の会場で個別相談を行います。◎令和8年度は山上、阿毘縁、大宮、多里地域の皆さんが対象です。



出前講座の募集

- ▶ 当院では地域包括支援センターと連携し、百歳体操などの会場に病院職員を派遣し、健康や病気、医療や介護などの内容で出前講座を行っています。
- ▶ 頼れる身近な存在として、病院職員が日南町の皆さんの健康づくりをお手伝いしますので、お気軽にお問い合わせください！

■お問い合わせ、お申し込み先■  
地域包括支援センター【82-0374】

令和8年度 予防接種について

- ▶ 高齢者肺炎球菌ワクチン（65歳の誕生日の方）
- ▶ 带状疱疹ワクチン（65歳、70歳、75歳など100歳までの5歳きざみの誕生日の方）
- 上記の年齢に該当する方は町から助成券が送られます。  
※助成券に関するお問い合わせは【福祉保健課：82-0374】へお願いします。
- 当院でワクチン接種を希望される方は前日までにご予約ください。  
≪予約先：0859-82-1235≫



令和8年度も継続！  
病児・病後児保育

- ▶ 令和7年度は、日南町にお住いの方を中心として38人（令和8年2月末時点）の利用がありました。
- ▶ 子育て中のご家庭のお力になれるよう、引き続き病児・病後児保育を実施します。
- ▶ 病児・病後児保育の利用料金が、利用日当日に健康福祉センターでお支払いいただけます。
- ▶ ご不明な点は、遠慮なくご相談ください。



【4月】病児・病後児保育は  
土日祝日を除いた、  
平日の全てが受け入れ可能です

お困りの際はご相談ください  
※病院が休診の土・日・祝日は利用できません。

整形外科 休診のお知らせ

都合により下記の日を休診とさせていただきます。

【休診日】  
4月10日、17日

■職員募集■【募集職種】

- ・看護師
- ・看護補助者
- ・介護福祉士
- ・運転士

※随時募集している職種もございます。詳しくは病院ホームページをご覧ください。

令和9年度採用試験日

第1回  
令和8年4月25日（土）

第2回  
令和8年5月23日（土）

令和8年度 日南病院が目指す未来と丁寧な検討

日南病院長  
はまだ としひろ  
浜田 紀宏



皆さん、こんにちは。日南病院の浜田です。昨年12月17日に、「共に考える最後の砦」と題したシンポジウムを健康福祉センター内で開催しました。来賓の先生方から、現地で改築して新病院を開業された例や、移転改築に成功された例のお話をうかがい、「新病院はやはり魅力的だ」と感じました。一方で、新病院づくりには多くの苦労と地道な準備が必要であることも学びました。願うだけでは前に進まず、誰か一人の決断だけでも進みません。計画やビジョンを共有し、それぞれが役割を果たし続けることで、はじめて物事は動き出します。

そのため日南病院は、日野郡ならびに新見市とその周辺の皆さんが「いざという時に頼れる場所」であり続けることを目指し、日々の診療とともに地域医療のあり方を見直しています。

役割を単純に分け、将来人口の推計だけで機械的に病床数を減らす例もあります。その結果、患者さんの移動が増え、いざという時に受け入れ先が不足すれば、地域の安心は守れません。また、病院の利用が不安定になれば、地域医療の体制や病院運営にも影響が及びます。

私たちは、これまでの診療実績や患者さんの動きを、周辺の町や医療機関とともに広い視点で見直し、データとして整理しながら、当院が長く続き、住民の皆さんにとってよりよい形を考えていきます。

人口が減るからといって安易に病床を減らすのではなく、将来を見据えた丁寧な検討を重ねることが大切だと考えています。そのため、周辺の医療機関や行政の方々と継続して話し合いを行っています。

私たちが目指すのは「地域完結型医療」です。すべてを一つの病院で抱えるという意味ではありません。どこまで地域で対応できるのか、どこで連携が必要なのかを、分かりやすいデータをもとに示しながら、日野郡全体で話し合い、方向性を決めていくことが課題です。人手不足などで協力をお願いする場面もありますが、その場限りではなく、長く続く仕組みづくりを進めていきます。

医療は病院だけで支えられるものではありません。住民の皆さんが地域の医療機関を上手に利用すること、行政が暮らしを支えること、そして医療機関同士が協力することが、日野郡の医療を未来につなぎます。

大切なのは、どのような仕組みで医療を続けるのかを、病院・行政・住民が話し合いながら決め続けることです。3町の行政とも力を合わせ、地域全体で支える視点を大切にしていきます。

将来を見据えた丁寧な検討が大切

人口減少や医療制度の変化の中で「周辺の医療機関と役割をどう分けるか」「病院の規模をどう考えるか」という議論が全国で進んでいます。しかし、十分な検討をしないまま

地域医療は地域全体での連携が大切

地域医療は救急隊との連携があつてこそ成り立ちます。患者さんをしてできるだけ早く診断し、必要な治療につなげることは自治体病院の重要な役割です。その役割を一つの病院に集中させるのではなく、日野病院をはじめとする周辺医療機関と協力し、地域全体で支える体制を整えることが必要です。そのため当院では、江府消防署をはじめとする救急隊との連携を大切にしています。

体調が急に悪くなったときに、速やかに診断し、適切な医療につなげることで、それが地域医療の基本です。比較的コンパクトな医療圏である鳥取県だからこそ、この原則を大事

皆さんと共に取り組みを続けます

直感や慣習だけに頼らず、データと仕組みに基づいて話し合いを重ね、誰もが納得できる形を一つずつつくっていきます。具体的な一歩として、診療や経営の「見える化」を加速させる新たな仕組み（電子カルテ等）の改修を、病院改築に先立って進めています。どうぞよろしくお願いいたします。

# 巡回診療と同時開催した健康教室ふりかえり報告！

巡回診療の主な役割は「無医地区に指定された地域の患者さんに定期的に医療を届け、安心して診察を受けていただき健康の維持・管理を行うこと」ですが、住民さん同士、病院と地域との繋がりの場でもあります。「健康教室」という位置づけですが、興味があることや以前やってきたことに触れる機会、人や地域、文化との繋がりを感じられることも健康の一つだと考えて様々な企画を行ってきました。

令和7年度は健康についての講演会のほか、花見、多肉植物、そば打ちなどを行いました。どの企画でも住民さんも病院スタッフも自然と協力してくださり、毎回和やかでお互いに思いやりを感じられる時間になっています。

巡回診療が医療や身体面のサポートだけでなく、楽しみや喜び、安心感や繋がりなど、気持ちの面でも元気になれる場になるよう、今後も取り組みを続けていきたいです。



リハビリテーション科  
すみ まさのり  
角 匡哲 作業療法士

## 令和7年4月 お花見&抹茶

つるぎ会館に咲く桜を見ながら、抹茶をいただき味わい深い時間となりました。



## 5月 多肉植物

植物が好きな方が多く、和気あいあいと寄せ植えができました。



## 令和8年1月 鏡開き

1月恒例行事の一つでもある鏡開きは、安全においしく楽しみました。



## 2月 そば打ち

昔、そばをよく作っていた方もおられ、興味津々でそば打ちを見ておられました。



## 【巡回診療の頼もしい仲間】

病院売店  
ファミリーショップつぼくら  
店主 坪倉さん



買い物も来られる皆さんの楽しみの1つ！

「今日はどんな品物があるかな？」「何を買おうかな？」と、皆さん真剣にショッピングを楽しまれています♪

# 地域医療を支える総合診療医へ

この度、当院内科の上平遼医師が日本専門医機構認定「総合診療専門医」の資格を取得しました。日々、日南病院で診療をしている上平医師を改めて紹介いたします！

内科医  
総合診療専門医  
うえひら りょう  
上平 遼 医師



## ◆令和8年1月、資格を取得しました！

◆この度、総合診療専門医を取得しましたので、今回はそこに絡めたお話をさせていただきます。まだ「総合診療科」という言葉に聞きなじみのない方も多いと思いますが、総合診療科は「内科」、「外科」などと同じような立ち位置にある専門科の中で、最も新しく加わった科になります。

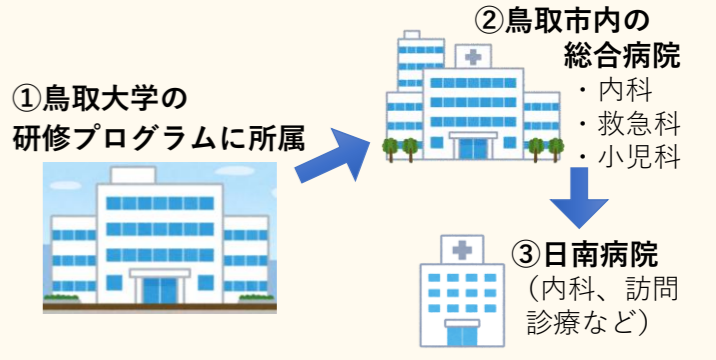
(例)

- 専門診療科
- 内科
  - 外科
  - ⋮
  - 総合診療科

New

## ◆内科医としてのさらなる一歩

◆私は鳥取大学の研修プログラムに所属して、まず鳥取市内の総合病院で一般内科の他、救急科、小児科の研修を行いました。2024年の春に日南病院に赴任してからは、内科医として勤務する一方で、訪問診療を中心として、地域の医療・介護・福祉サービスに包括的に関わる機会を多く得ました。そのため、これまでは限定的な関りでしたが、日南病院では重点的に取り組むことができました。



## ◆「総合診療科」とは？

◆よくこの質問を受けますが、これは端的なお答えをするのが非常に困難な問いになります。難しい言葉を使用すると、生物心理社会モデル(BPSモデル)などを用いて診療を行います。

◆総合診療科では特定の臓器や病気だけを診るのではなく、年齢や症状を問わず幅広い患者さんを診療し、カラダ全体の状態や生活背景まで含めて総合的に考えるという役割があります。

◆偉い先生に「総合診療科について端的に説明してください」とお願いをした際も、20~30分程度しっかりとお話をされました。そのくらい範囲が多岐にわたり、その中には一般的に知られていない考え方も含むため、一言では説明が難しいのです。



## ◆患者さんとの関わり

◆実際には病気のことだけでなく「家での困りごとなどを相談したら思ったよりも話を聞いてくれた。」という関わり方から始めることができると考えています。

◆「どの科にかかればよいかわからない」「いくつもの病気を抱えている」といった場合でも、まず相談できる身近な窓口となり、必要に応じて専門の診療科へつなぐことも大切な仕事の一つです。地域の皆さんにとって、安心して相談できる“最初の窓口”でありたいと考えます。



## ◆上平先生から患者さんへのメッセージ

◆「病気に関する皆さんの思いや背景などを含めて、医師と患者がお互いに理解をしていくことが重要」と考え診療にあたっています。この性質から、患者さんの再診の際には待ち時間が長くなることが多く、申し訳なく思っております。今後は、タイムスケジュールの管理も上達できればと思う最近です。